

## 事業完了（廃止等）報告書

### 調査研究期間等

調査研究期間	令和2年6月2日 ~ 令和3年3月15日
調査研究事項	《委託研究：夜間中学における教育活動充実にかかる調査研究》 ・対象校2校 神戸市立丸山中学校西野分校 神戸市立兵庫中学校北分校 1. 教育課程に関すること ア. 高齢者や外国人向けのカリキュラム開発 イ. 中学校形式卒業者の学び直しのカリキュラム開発 ウ. 外国人に対する日本語指導の充実
調査研究のねらい	ア. 神戸市の夜間中学校在学者は、成人し社会生活を営んでいる者や、日本で社会生活を営んでいる外国人が大半である。その生徒の実情に合わせた特別の教育課程を全職員で検討、編成し、学校長の判断を以て実施する。 イ. 中学校形式卒業者に学び直しを提供し、上級学校進学の支援を行う。 ウ. 外国人生徒は生活言語としての日本語を身に付けているが、学習言語の日本語は習得できていない状態で入学してくる。彼らに学習言語の日本語を習得させるため、支援活動を教育過程の内外で行う。教員に対しても、日本語指導研修を行う。

<p>調査研究の成果</p>	<p>《 神戸市立丸山中学校 西野分校 》</p> <p>年間を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国籍生徒の学習を支援するため、教育課程の内外において日本語習得のための学習を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程内 日本語習得状況による学級編制</li> <li>教育課程外 授業時間以外に日本語の学習を行った。</li> <li>そのために必要な教材を購入し有効活用した。</li> <li>「みんなの日本語」の初級編、中級編・中国語用・英語用 ベトナム語用・ネパール語用・アラビア語用を年間活用。</li> </ul> </li> <li>・ 各生徒の学習習得状況に合わせた自主教材を作成するためにプリンターインク、P P C用紙、フラットファイルを購入し有効活用した。</li> </ul> <p>【4月～5月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、政府の方針に従い、神戸市立学校園は、5月31日まで臨時休業した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>その間、高齢者生徒が少なくないこともあり、登校日は設けず、電話連絡、メール連絡、家庭訪問で生徒とコミュニケーションを図った。プリントによる学習指導を行った。</li> </ul> </li> <li>・ 全職員による学習指導検討会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本人生徒、外国人生徒、形式卒業者（1名）、それぞれの学習能力を確認し、習熟度別学級の編成を行った。</li> </ul> </li> <li>・ 4月3日（金）、6日（月） <ul style="list-style-type: none"> <li>神戸国際コミュニティセンターより、日本語指導講師を招き、全職員が参加して日本語指導研修を午後から両日4時間行った。</li> </ul> </li> <li>・ 国語、社会、数学、理科、英語は、それぞれ全校で6つの習熟度別学級を編成した。</li> <li>・ 実技科目については、例年全校1学級で授業を実施していたが、新型コロナウイルス感染症予防対応のため、クラス内の密集を避け、今年度は2クラスに編成して実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>教科担当教員以外に全教員が補助に入った。</li> </ul> </li> <li>・ 外国人生徒のために各言語別年間計画を作成した。</li> <li>・ 中学校形式卒業入学者に対して、本人の学力と進路希望に合わせた学習指導計画を立てた。カリキュラムは、中学校の教育課程を終えているので校長裁量により作成した。</li> <li>・ 各科目の習熟度に応じて、小学校段階からの学び直しを行うため、小学校の教科書等を使用し、理解の進み具合に合わせ、使用教科書等の学年を随時上げていった。</li> </ul> <p>【6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1日より神戸市立学校園は再開された。</li> </ul>
----------------	--

**【8月】**

- ・ 17日（月）、18日（火）  
神戸YWCA学院より、日本語指導講師を招き、全教員が参加して日本語指導研修を午後から両日4時間行った。

**【10月】**

- ・ 30日、文化発表会を実施。学習成果を展示と舞台上で発表した。  
新型コロナウイルス対応のため、生徒と家族中心の参加とした。

**【1月】**

- ・ 次年度教育課程原案編成会議実施（校長、教頭、教務部長）
- ・ 次年度教育課程の承認（職員会議）
- ・ 次年度学習指導検討会議（全教員）

**【2月】**

- ・ 作文発表会の実施
- ・ 入学面談開始 2月1日～7月21日  
入学資格 中学校未卒者で市内在住か、市内在勤。  
中学校既卒者は、神戸市教育委員会事務局学校経営支援課が対応する。
- ・ 入学希望者体験入学実施（1日）  
外国人希望者に面接を実施し、日本語習得状況を確認する。

**【3月】**

- ・ 全教員により次年度学級編成会議を行う。（習熟度別）

《 神戸市立兵庫中学校 北分校 》

年間を通して

- ・ 外国籍生徒の学習を支援するため、教育課程の内外において日本語習得のための学習を行った。  
教育課程内 日本語習得状況による学級編制  
教育課程外 始業前1時間、日本語習得授業を行った。  
そのために必要な教材を購入し有効活用した。  
「出口式はじめての論理国語」小1～小5
- ・ 全職員で学習指導打ち合わせ会を開き、習熟度と日本語習得状況を勘案して、毎月学級替えを行った。
- ・ 全教員による学習指導検討会議を実施した。
- ・ 国語は、全校を7学級の習熟度別学級に編成する。数学は、全校を7学級の習熟度別学級に、英語は学年別に3学級ずつの習熟度別学級に編成した。

- ・実技科目については、全校1学級で授業を実施した。教科担当教員以外の全教員も補助に入った。
- ・外国人生徒に日本語指導を行うため、必要な教材をコンピュータで自主作成した。
- ・理科、社会科の学習の理解を支援するため、関連DVDを教材として購入した。「世界の絶景」1～10
- ・生徒の表現力向上のために、教材となる書籍を購入した。
  - 「ことば選び辞典」
  - 「心にひびくマンガの名言」1～5
  - 「夢をかなえるあの人の作文」1～3 他
- ・生徒の国籍が様々で、お互いの国の文化を尊重する態度を涵養することが大きな課題である。そこで、多文化共生を念頭に置いた人権教育を推進するために、道徳教材として「道徳名作DVD」①～⑤を購入した。
- ・形式卒業者2名の学び直しに対応する弾力的な教育課程を校長承認のもとに行った。

#### 【4月～5月】

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、政府の方針に従い、神戸市立学校園は、5月31日まで臨時休業した。その間、高齢者生徒が少なくないこともあり、登校日は設けず、電話連絡、メール連絡、家庭訪問で生徒とコミュニケーションを図った。プリントによる学習指導を行った。
- ・学校が臨時休業している間に、主に新着任者に対して日本語指導の校内研修を実施した。
- ・校務分掌に「日本語指導」担当を置いた。

#### 【6月】

- ・1日より神戸市立学校園の再開。

#### 【8月】

- ・高等学校進学希望者への補習を行う。（3月まで）
- ・希望する生徒に対して個人別補習を行う。（文化祭作品作りを含む。）

#### 【10月】

- ・16日 文化発表会を実施した。展示物の製作、全学年での器楽演奏を披露し、学習の成果を発表した。新型コロナウイルス対応のため生徒と家族の参加に限った。

#### 【12月】

- ・定時制高校と連携し、高校説明会を開催した。

	<p><b>【1月】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次年度教育課程原案編成会議実施（校長、教頭、教務部長）</li><li>・次年度教育課程の承認（職員会議）</li><li>・次年度学習指導検討会議（全教員）</li></ul> <p><b>【2月】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・入学面談開始 2月1日～7月21日 入学資格 中学校未卒者で市内在住か、市内在勤。 中学校既卒者は、神戸市教育委員会事務局学校経営支援課が対応する。</li><li>・入学希望者体験入学実施（3日） 外国人希望者に対して面接を実施し、日本語習得状況を確認する。</li><li>・作文発表会の実施。</li></ul> <p><b>【3月】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全教員により次年度学級編成会議を行う。（習熟度別）</li></ul>
--	---